

水害の恐ろしさ

森林商事株式会社

森 林 慎 介

第5班

「令和8年8月千葉豪雨」

2026年8月のお盆休みに降り始めた雨は、千葉県に甚大な被害をもたらした。8月13日に千葉市、市川市、船橋市、松戸市、柏市、鎌ヶ谷市、八千代市、白子町など20を超える市と町に気象庁が初めて警戒レベル5大雨特別警報を発表した。テレビを見ていたら成田空港に到着した方々が、電車は運休し、高速道路も通行止めで高速バスも運休、タクシー乗り場は長蛇の列で乗車できず、滞留していた。結局空港に足止めされた方が約7,000人もいたそうだ。全壊や浸水した住宅は7,000棟以上、水没し放置された車はおよそ3,100台にものぼった。今回の災害を気象庁は、「令和8年8月千葉豪雨」と命名した。

今回被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。



浸水したアンダーパスと
水没した車両(鎌ヶ谷市)



自動車が放置されたアンダーパス(鎌ヶ谷市)



通行止めのアンダーパス(鎌ヶ谷市)

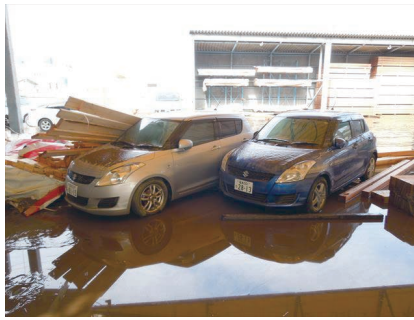
「令和元年東日本台風(台風第19号)」

2019年(令和元年)10月に発生した台風19号は、記録的大雨をもたらし、関東甲信越地方や東北地方に大きな被害をもたらした。長野県にある北陸新幹線車両センターが水没したことを記憶している方も多いと思う。福島県郡山市の郡山中央工業団地内にある弊社の営業所も阿武隈川からの越水や溢水、谷田川の決壊により大きな被害を被った。10月11日より降り出した雨は、12日から13日にかけて強まり通過した。周りの国道4号線や49号線も冠水しているため、通行止めになっていて会社に近付くこともできなかった。

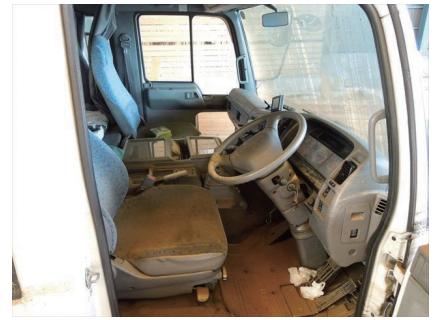
水も引き、14日にやっと会社にとどり着くと悲惨な状況になっていた。事務所の脇に水の跡がくっきりとついていて。高さを測ると1メートル80センチを超えていた。営業車2台、トラック2台、フォークリフト2台が水没していた。事務所の中にも水が入り、床は泥だらけになっていて、ドアや建具は水を吸い、変形してしまった。



水の跡が付いた事務所の壁



水没した営業車



運転席まで水没した4tトラック



泥だらけの事務所



水圧で倒れたSPF



水圧で倒れた杉材と水没したトラック

いろいろと机の上に置いてあったパソコン、電話、書類などは水没を免れた。倉庫内の木材も6～7割は水没し、20バンドルがフェンスを越え、流出してしまった。空地や他社の敷地に流れ着き、一番遠くまで流されたバンドルは、会社から約1キロメートルも離れたところにあった。ご近所からの連絡をいただき、全量回収することはできた。倉庫内もいたるところで木材が崩れ、どこから手を付けてよいのか判らない状況だった。翌日の15日から本格的に復旧作業を行った。前橋の工場からフォークリフト2台を運びこみ、運送会社から4tユニック車を2台入れてもらった。人力だけでは相当時間が掛かるが、フォークリフトとユニック車のおかげで順調に作業が進む。結局、10月一杯は復旧作業に掛かってしまった。しかしながら、社員とその家族は全員無事で、自宅も被災することがなかったのは、不幸中の幸いであった。



散乱した木材と水没したトラック